

10 月度木曜例会(2017 年 10 月 5 日)

今日は IIN のレギュラースピーカー、Matt さんのお話です。12 回目の講義となる今日は、時折ブルースを聴きながらのムード溢れるひと時となりました。

1 ヶ月ほど前から講義の準備をされてきたそうですが、その間、昔の音楽ばかり聴いていたので、お父さんや奥さんから、「マツト、最近話し方が変わってきたのでは!？」と言われたこともあったとか。また、3 ヶ月の娘さんは、ブルースの音楽を流すと体が反応するか…。そのような魅力たっぷりのブルースについて、今日はたくさん教えていただきました。



Blue Notes and Muddy Waters: the Blues Mr. Mathew Allen Sawyer-Long (USA)

私は楽器は弾かないが、音楽に対する思いは熱い。その哲学にも興味がある。音楽は私達の生活の一部になっており、音楽なしの生活は考えられない。なぜ人は音楽を必要とするのか？私にとって、音楽はアルコールと共に人間であることの証（あかし）なのです（笑）。

ブルースは影響力が大きい音楽で、もしブルースがなかったら、ゴスペルミュージックもソウル、レゲエ、ジャズ、ロックンロール、ヘヴィメタル、ブルグラス、カントリーミュージックも…何もない！父は中流階級の白人だが、ジャズとブルース以外何も聴かなかった。だから私はブルースと共に育ってきた。（ただ、実を言うと、私はつい最近までブルースは好きではなかったのだが。なぜか突然好きになった！年をとってきたから？）

ブルース音楽はクリアではなく、曖昧で、はっきりしない旋律。blue notes とは、ブルース形式で用いられる 12 のコードを意味する。

ブルースは元々アフリカ系アメリカ人の音楽で、労働歌でもあった。奴隷として連れて来られた彼らの 90% は当初、南部諸州に住んでいたが、南北戦争後、自由を得た彼らはニューヨークやシカゴ、カリフォルニアへと全米各地に広がり、それと共に音楽も拡散した。この最初に広まったブルースが、カントリーブルースである。

自由は得たものの彼らの生活は苦しかったので、ブルースは辛い生活を歌ったものが多い。彼らはギターを片手に、街角や travelling carnival(移動式遊園地)で歌った。ブルースはライブで聴くもので、レコーディングも 1917 年までなかった。

当時アメリカでは白人と黒人は区別されており、一般にホテルやトイレ、コンサートホール等、別々になっていた。同じ野球スタジアムに入るのにも入り口は別だった。ラジオが普及しても、ラジオは白人のもので、ラジオからブルース音楽は流れなかった。因みに、ラジ



オから流れるエルヴィス・プレスリーの歌声を聞いて、最初人々は彼を黒人だと思っていた。

Bessie Smith <写真左>

ブルースは、特に女性の歌であった。だから初期の頃のスーパースターは、みんな女性。ブルースクイーンと呼ばれた1人、白人の前で初めて歌った黒人歌手の1人でもある。1960年代に亡くなったが、もし今も生きていたら、私は彼女のコンサートに絶対行く！

ブルースではどんな楽器が演奏されていたのか？私自身、大学時代にも楽器を作ったこと

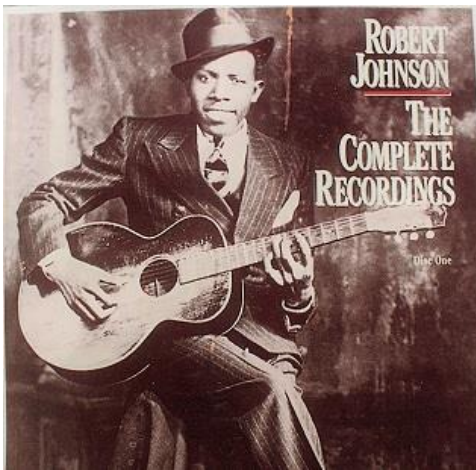
があり、興味がある。人はよく、手作りの楽器で音楽をかなでる。特に貧しい人は。身近なものでは、例えば缶や洗濯板をスプーンで鳴らしたり、ビール瓶を吹いたり。そういった身の回りの物で演奏する jug band も存在する。

高価だった楽器はやがて安価になり、シアーズ・ローバックの通信販売で、誰でも楽器を簡単に手に入れることができるようになった。



Blind Lemon Jefferson <写真右>

カントリーブルースの代表格で、彼は実際、盲目だった。Blind という名のミュージシャンは3~4名いる。他にも Peg Leg Howell(peg leg は義足の意)など変わった名前が多い。彼らはラジオでは歌わず、街角やクラブで歌った。当時のラジオ曲には、曲の時間(レコード盤の大きさから、3分間)、歌詞の内容など様々な制約があった。だから、ブルースは制約を受けず、emotional、truthful、mysterious な音楽であった。心に届く powerful な音楽。“Act blues!”は“Be cool!”ということである。



Robert Johnson <写真左>

ブルースと言えば、ロバート・ジョンソン。世界でト

ップ5に入るミュージシャン。彼の才能は素晴らしく、27歳で突然亡くなったため、毒殺やら病死やら、“彼は才能を得る代わりに悪魔に魂を売った”とされる伝説もある。若くしてなくなったため、世界的に有名になったのは、彼の死後レコーディングが発見されてから。

第二次世界大戦が始まり、労働力不足から

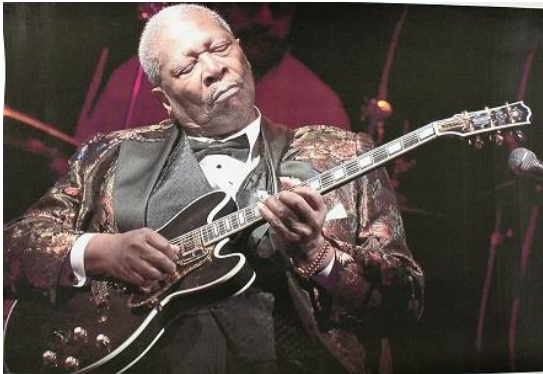
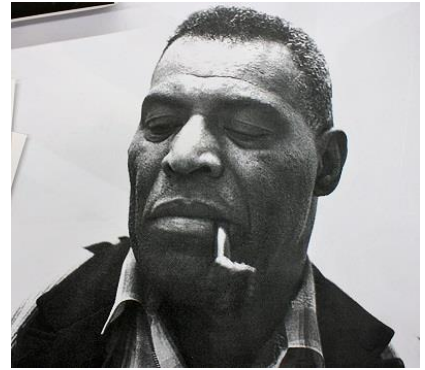


魂を悪魔に売り渡したとされるクロスロード伝説

人々は田舎から都会へと移動した。これが第二の移動で、エレキギターも普及し始めた。エレクトリック・ブルースの始まりである。T-Bone Walker を始め、Gimi Hendrix、**Howlin' Wolf**<写真右>など、有名なミュージシャンは多い。

B. B. King<写真下>

ほんの数年前まで健在だったブルース界の巨匠。1940年代、50年代には Howlin' Wolf や Muddy Waters(後述)と共にブルースの黄金時代を築き上げた。



だがその後、ブルースに影響を受けた白人の音楽、ロックンロールに座を奪われる。エルヴィス・プレスリー等の登場である。ブルースミュージシャンは、大舞台からまた元のクラブに追いやられることになった。人気のあったミュージシャンでさえ、いつ死んだか誰も知らないほど落ちぶれる人もいた。

一方で、**B.B.King** らは渡欧して人気を博し、第二のキャリアを積んだ。次世代のミュージシャン、エリック・クラプトンやジョン・レノン、ジミー・ペ

イジ等多くの英国ロッカーに影響を与えた。帰国後、彼らは再びアメリカで人気を取り戻した。第三のキャリアである。

Muddy Waters<写真右>

彼1人で音楽を変えた偉大な人で、英国ロック界にも大きな影響を与えた。ローリング・ストーンズは彼の曲 Rollin' Stone からバンド名をつけており、エリック・クラプトンは

親友で、一緒にツアーもした。

彼はセクシーで、多くの女性がチケットを買うのに列をなした。



Q&A

★日本でもブルースと名のつく曲が数多くあり、カラオケでもよく歌うが、これはアメリカのブルースとは違う。日本で本当のブルース歌手を知っているか?⇒知らない。もしいたら会いたい。日本のジャズミュージシャンなら知っており、彼らのレベルは非常に高いと思う。

★先程 Sweet home Chicago の歌を聴いたが、カリフォルニアからシカゴに行くというのは、何か深い意味があるのか？⇒単に遠くに行く、という意味では？勿論、ホームシックやノスタルジアの意味もある。

ルート 66 のこと？⇒そうだと思う。当時、ルート 66 はできたばかりの国道だった。

★学校時代、ニグロスピリチュアルやゴスペル、フォスターなどが当時の典型的な音楽だったと習ったが、ブルースはそれらから発生した音楽なのか？それとも、全く違った、独立した音楽？⇒宗教音楽と世俗音楽が常に関係しているのと同じで、ブルースは独立した音楽でもあるが、同時に深く関わっている。ブルースミュージシャンが教会に行って、教会音楽を演奏することもあれば、ジャズを演奏したりすることもあった。

以下は Matt さんが講義中に流してくれた曲目リスト。

- ①Do your duty, by Bessie Smith : 100 年前の曲。Devil's gonna get you や St. Luis Blues も有名。
- ②Matchbox Blues by Blind Lemon Jefferson : 1 曲目とは随分違う。dirty な曲。苦しみ、うめく様な歌声。
- ③Sweet Home Chicago, by Robert Johnson : これはポジティブな歌。彼の歌い方は funny。
- ④Spoonful, by Howlin' Wolf : 私の大好きな曲で、The Millennium Collection (講義前に流していたアルバム) の中の 1 曲。heavy な音のブルース・ロック。ブルース・ロックとロックンロールの主な違いは、テンポ。
- ⑤My home is in the Delta, by Muddy Waters : デルタはミシシッピ川河口のデルタを意味し、デルタ・ブルース発祥の地。多くのブルースミュージシャンは南部出身で、Muddy Waters もこの地出身。
- ⑥Rollin' Stone, also by Muddy Waters : スローだが、パンチがある。彼のアルバム The Folk Singer と The London Muddy Waters Sessions (前頁の写真) は特に有名。聴く時間はなかったが、Baby, please don't go や Long Distance Call、Hoochie Coochie Man 等、ヒット曲は多い。
- ⑦Howlin' For You, by the Black Keys : ブルースは最近すたれていたが、この数年また復活の兆しを見せている。彼らは往年のブルースミュージシャンを探しに南部を訪れている。